

神奈川県立伊志田高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 国際的な視野をもった、国家及び社会の有為な形成者を育成するため、社会についての広く深い理解と健全な批判力、自分の考えを表現し行動する力等、国際社会で積極的に活躍するために必要な資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 情報化やグローバル化が進展する社会を生き抜く資質・能力を育成するために、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、それらを活用する能力の向上を図ることができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

社会について広く深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努め、国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養う。

グラデュエーション・ポリシー

- 国家及び社会の有為な形成者となるために、社会について広く深い理解と健全な批判力を育成します。
- 国際社会で積極的に活躍するために、広い視野をもち、自分の考えを表現し、行動する力を育成します。
- 情報化やグローバル化が進展するこれからの社会を生き抜くために、他者と協働しながら新たな価値を生み出す力を育成します。

カリキュラム・ポリシー

- 生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成します。
- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、小集団による選択授業を行い、それらを活用する能力の向上を図ります。
- 生徒による授業評価や研究授業を活用して不断の授業改善を行い、地域社会の力を活かして生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざします。

アドミッション・ポリシー

- 本校の教育目標を理解し、自ら学ぶ意思のある生徒
- 中学校の学習活動、課外活動に主体的・積極的に取り組んだ生徒
- 中学校における学習を基盤として、教科に関する基礎的・基本的な知識及び技能や思考力・判断力・表現力等を身に付けるために努力し、将来の自己の希望の実現に向けて、探究し続ける生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目 標	情報化やグローバル化が進展し、人々が今まで経験をしたことのない社会を生き抜く資質・能力を育成するために、自ら考える力や自ら判断する力を身に付けるとともに、それらを活用する能力の向上を図る。	生徒一人ひとりの個性、学校や家庭、地域で生徒を取り巻く環境を踏まえたきめ細かな生徒指導・支援を行う。	生涯にわたって、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかを考えさせ、自己実現できるようにキャリア教育を充実させ、進路指導・支援を行う。	学校運営協議会や保護者、地域の関連機関等と連携し、学校の教育活動をさらに充実させる。	事故・不祥事の防止に努めるとともに、生徒が安心して学習や様々な活動に取り組めるように、安全な環境を整備・維持する。
主な方策	自らの問いを見出し、深い理解に結び付けるために、指導のねらいに応じて、授業での生徒の学びを振り返り、学習や指導改善に生かす。	かながわ子どもサポートドックなどを通して、生徒との面談を実施し悩みや課題を把握する。家庭と連携し、必要に応じて、S・C・S・S・W、学警連、児童相談所や特別支援学校など、外部機関とも連携する。	面談等を通して、生徒に自己の将来像について考えさせる。さらには、様々な進路行事を設定し進路についてビジョンを持たせる。	学校運営協議会で学校の方針等について検討する。その方針のもと実施する様々な教育活動において、PTA、地域にある企業や大学などと連携し、生徒に幅広い体験をさせる。	年間を通して事故・不祥事防止研修を実施する。生徒が災害から自らの生命を守るために必要な態度を育成する。また、非常用物資の備蓄を管理する。日常では、清掃を徹底し、清潔で安全な学習環境を整備する。

校訓・沿革・伝統

- 神奈川県立伊志田高等学校は昭和 51 年に開校した。
- 校名の由来は、伊勢原の「伊」と石田の「田」まん中の「志」は、「少年よ大志を抱け」に通じるということから、伊志田高等学校の校名誕生となった。
- 校章の由来は、地勢的にも、歴史的にも大山が地域を象徴する代表的な存在である。この大山を三角の図形に表し、県の花、山百合を中央において、伊志田高校が県の中心であることを示している。

特色のある学校行事等

- メインの行事は、「宿志祭」である。体育部門は 5 月、文化部門は 9 月に行われる。
- 令和 5 年度より実施している「Ishida Field Trip」は、学校から大山下社まで楽しく歩くイベントである。伊勢原市をはじめ、地域の方や PTA の皆さんに協力していただき、今後も継続したい行事である。